

お茶大の留学生の生活

お茶の水女子大学

キアラ・ピッコ

大学にいる間に留学することは子どもの頃からずっと夢でした。日本へ行くことを考えていたわけではなくて、ただ留学を経験し、他の文化と他言語に浸って新しい人々と出会いたいと思っていました。しかし、日本語を勉強し始めてからは、日本で勉強することが目標になって、ついにできました。

時間の流れがとても速く感じますが、日本に到着して4ヶ月が経ちました。もう4カ月過ごしたという実感がありません。

初めは、まだ友達がいなかったし、寮の部屋も狭く少し怖くて悲しかったし、慣れるのに大変でした。しかし、少しずつ慣れていきました。授業が始まってから、多くの新しい友達ができ、新しい生活にも新しい部屋にも順応していました。



実際に、日本での生活はとても楽しいと思います。授業に出るのはいつも楽しいし、ぜんぜんつまらなくなかったです。みんないつもとても親切で、私たち留学生を応援してくれます。今学期、私は月曜日から金曜日まで授業を受けて、勉強していましたが、週末はいつもリラックスして友達と過ごしました。

お茶の水の授業はどれも興味深く、刺激的で、少しずつ日本語がよくなって気がします。特に漢字の授業がお気に入りでした。漢字をしっかり勉強できるようになって、外で漢字がわかるようになったことは大きな満足感でした。

勉強以外にも、この1学期は新しい経験でいっぱいでした。例えば、お茶大の特別な日本文化の教室は、生け花教室と書道教室と着物と浴衣を着ることもできました。

また、新しい場所もたくさん見に行きました。例えば、美しいお寺がたくさんあって静かな町、日光に行きました。そして、6月に軽井沢に行きました。自然の中に



ある魅惑的な場所で、とても好きになった街です。そして七夕には、神奈川県と東京都で最大の平塚まつりに行きました。大切な人と一緒に行きましたので、この日のために浴衣を買って着ました。このように日本文化に浸ることができたのは、私にとって本当に不思議なことでした。

最後に、お茶大でお世話になったすべての方々に感謝したいです。

まず、私の指導教員である西川先生、いつもお世話になっております。先生たちたくさん教えてくれてありがとうございます。

そして、学生センターでみんなさん働いている人にもありがとうございます。特に年金のことでお世話になった学生センターの岩崎さんです。音羽館の皆さん、いつも親切にしてくれてありがとうございます。最後に、新しい友人たちに、友情と時間をありがとうございます。後学期の楽しみにしています。また頑張ります。